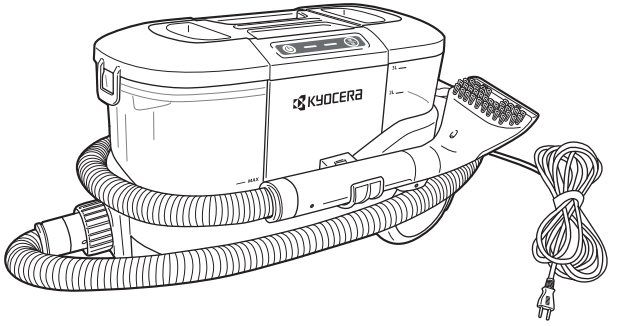
KYOCERA

リンスクリーナー
KRC800

取扱説明書

保証書付



もくじ

■安全上のご注意 …… 1～6
■防水性能についてのご注意 …… 7
■各部の名称 …… 8
■仕様・用途 …… 9
■付属品 …… 10
■別販売品 …… 11
■ご使用前の準備 …… 11～14
■使い方 …… 15～24
■保守と点検 …… 25～28
■故障かなと思ったら …… 29
■保証書 …… 裏表紙

二重絶縁

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

69801896-00

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- 「 電動工具」は、電源式（コード付き）電動工具を示します。

■警告表示・注意表示について

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警　告	誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
⚠ 注　意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
「⚠ 警告」・「⚠ 注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「⚠ 」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■絵表示について

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって文字や図記号と組み合わせて表示しています。	

⚠警 告

必ず守る

使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
・表示を超える電圧で使用すると、モーターの回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

よく読む

ご使用前には、必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途にはお使いにならないでください。

禁止

火災や感電、けが、健康障害、故障の原因になりますので、以下のものは吸込まないでください。

- 引火性物質
  - ・ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など
  - ・金属の研削、切断作業時に発生する火花
  - ・火のついているもの、たばこの吸い殻など煙の出ているもの、および高温のものなど
  - ・トナーなどの可燃物
  - ・釘、カミソリの刃、つまようじ、ガラスなど鋭利なもの
  - ・油、熱湯、薬液、洗剤など発泡性の高い液体
  - ・金属粉やカーボン粉などの導電性のある微細な粉じん
  - ・可燃性のガス（スプレーなど）
- 爆発性物質
  - ・ニトログリセリンなど
- 発火性物質
  - ・アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど
- 感染症の疑いがある汚れ
- ペットなどの排泄物、吐しゃ物、およびそれらがついたもの
- 乾いたほこりなど
- 多量のごみ（大きなごみ、湿ったごみ）など
- 多量の砂、小石など
- ビニール袋など内部に詰まりやすいもの
- 固化するもの
- 大量の小麦粉、消火器の粉など、粉じん爆発のおそれのあるもの
- 除湿剤や乾燥材など
- 薬品類、中毒症状を起こす物質など
- 石綿（アスベスト）など人体に有害なもの

⚠警 告

必ず守る

掃除以外の用途に使用しないでください。
・異常動作、火災の原因になります。

必ず守る

作業場の周囲状況も考慮してください。
・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業はけがのおそれがあります。

水ぬれ禁止

雨中や水まわり、風呂場などで本体がぬれるおそれのある場所では絶対に使用しないでください。
・感電や発煙のおそれがあります。

禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。
・感電や発煙のおそれがあります。

禁止

本体の吸込口、排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
・モーターの温度が異常に上昇し、部品の変形やモーター焼損などの故障の原因になります。

禁止

使用中は、本体の吸込口周辺に人や動物の手や顔などを近づけないでください。
・けがや思わぬ事故の原因になります。

必ず守る

指定の付属品を使用してください。
・この取扱説明書に記載されている付属品以外のものは使用しないでください。

電源プラグを抜く

次の場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・使用しない、または本体の点検、修理する場合。
・延長管、ノズルなどの付属品を交換する場合。
・停電などの場合。
・その他危険が予想される場合。

必ず守る

回収タンクは必ず取付けて使用してください。
・故障やけがの原因になります。

⚠警 告

禁止

ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
・感電のおそれがあります。

必ず守る

本体が使用中に転倒したときは、ただちに電源スイッチを切り、本体を立て直してください。
・故障の原因になります。

点検・確認

誤って落としたり、ぶつけたときは、付属品（ノズルなど）や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
・破損や亀裂、変形があると、けがや故障の原因になります。

点検・確認

損傷した部品がないか点検してください。
・使用前に、本体やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
・本体やその他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。
そのまま使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。
＜異常・故障例＞
・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
・電源コードに深いキズや変形がある。
・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
・焦げくさい臭いがする。
・ビリビリと電気を感じる。
・スイッチを入れても動かない。　等
すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に点検、修理を依頼してください。

必ず守る

お手入れや点検、持ち運びの際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・不意な始動によるけがの原因になります。

必ず守る

使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
・そのまま使用していると、けがの原因になります。

⚠警 告

禁止

本製品は、安全に責任を負う人の監督または指示がない限り、子供を含め、補助を必要とする人、製品知識を持たない人に使用させないでください。また、子供が本製品で遊ぶことがないように監督してください。
・けがや器物破損の原因になります。

禁止

本体を火気・暖房器具などに近づけないでください。
・火災などの原因になります。

必ず守る

十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。
・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。

禁止

アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。

分解禁止

絶対に分解したり修理・改造しないでください。
・発火したり、異常作動してけがをすることがあります。
・本体が熱くなったり、異常に気付いた時は、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
・この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

禁止

・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

⚠注 意

必ず守る

ノズルやホースに異物が詰まったら、すぐに電源スイッチを切って使用を中止し、異物を取除いてください。
・故障の原因になります。

禁止

清水タンクには 40℃以下の水道水またはアルカリイオン水以外は入れないでください。
・故障の原因になります。

⚠注 意

必ず守る

使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
・火災や感電の原因になります。

必ず守る

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
・ コードが破損し、火災や感電の原因になります。

よく読む

必ず守る

リンスクリーナーは、注意深く手入れをしてください。
・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

必ず守る

凍結のおそれがあるときは、回収タンク内、清水タンク内、ホース内、ハンドツール内の水を捨てて保管してください。
・故障の原因になります。

禁止

清水タンク、回収タンクに水が入った状態で本体を傾けたり、落としたりしないでください。
・水がこぼれて床などがぬれる原因になります。

禁止

本体の上に乗ったり、座ったりしないでください。
・ 本体が破損したり、急に動き出し、転倒するなどけがの原因になります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

二重絶縁について

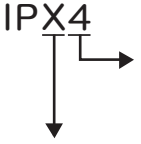
二重絶縁とは、電気回路と使用者の間が異なる２つの絶縁物により絶縁され、感電に対する安全性が高くなった構造を言います。このためアース（接地）する必要がありません。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

防水性能についてのご注意

本製品は水による影響を受けにくいように設計されており、国際規格（IEC60529）に規定された防水の保護等級を表す IPX4 の要求に適合しています。

保護等級（IPX4）の説明



第二特性数字：水の浸入に対する保護等級を、０～８までの数字または文字Ｘで表す。

第一特性数字：外来固形物に対する保護等級を、０～６までの数字または文字Ｘで表す。

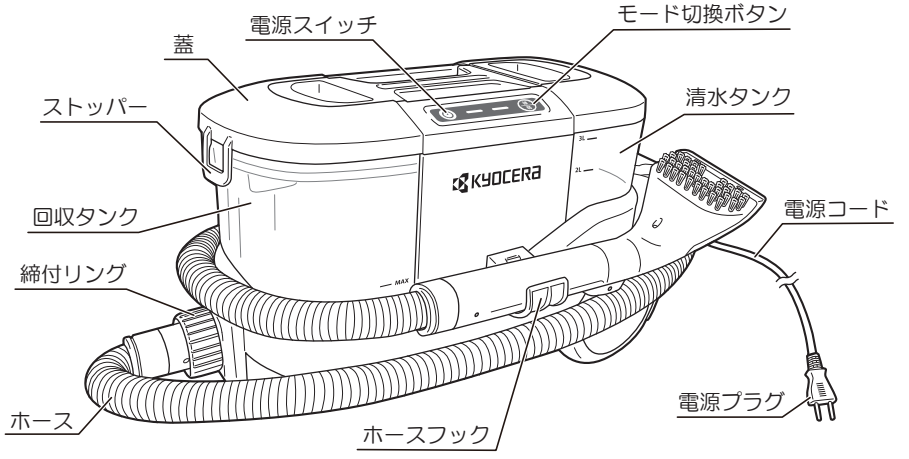
※　Ｘは適用しない場合に用い、数字は大きくなるほど保護レベルが高くなる。

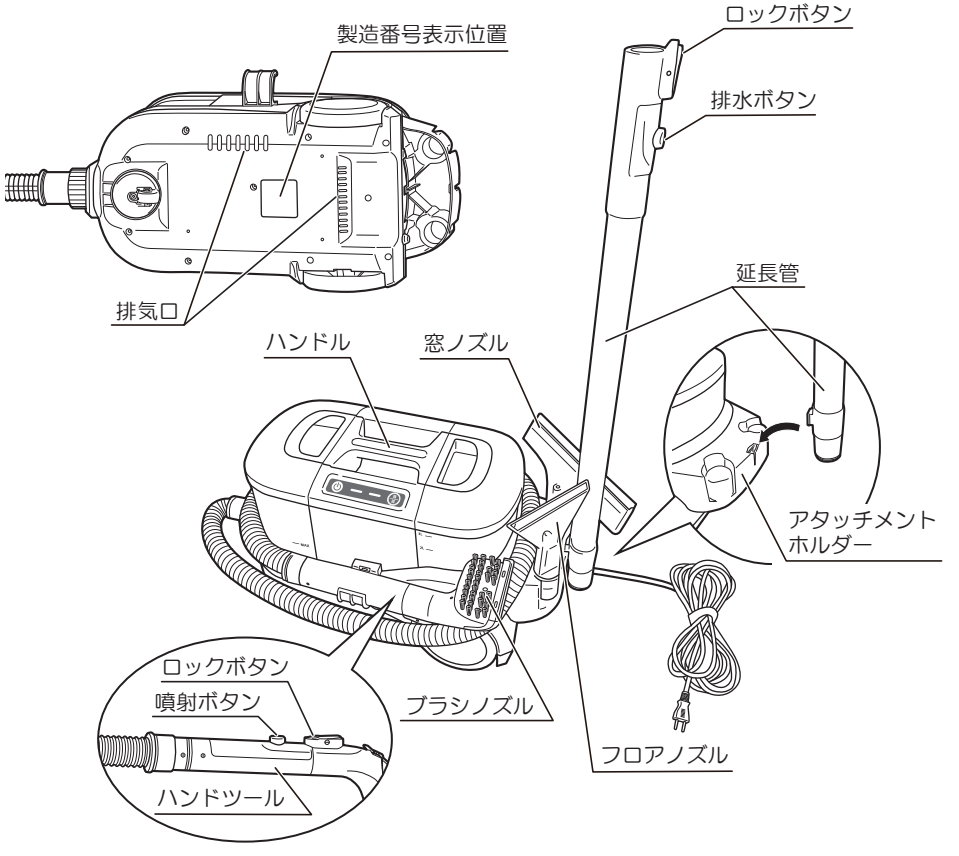
水の浸入に対する保護等級

IPX4
あらゆる方向からの水の飛まつによっても、電気機器に有害な影響がない。（約 360 度の角度で往復動させる円弧チューブの内側に設けた散水口から、10 分間放水したときの安全性を確認する。）

⚠ 本製品は水による影響を受けにくいように設計されていますが、水によって故障しないことを保証するものではありません。過度な水があるところ、水中や雨中での使用や放置はしないでください。

各部の名称


電源スイッチ
モード切換ボタン
蓋
ストッパー
清水タンク
回収タンク
電源コード
締付リング
ホース
ホースフック
電源プラグ


製造番号表示位置
ロックボタン
排水ボタン
延長管
排気口
ハンドル
窓ノズル
アタッチメント
ホルダー
ロックボタン
噴射ボタン
ブラシノズル
フロアノズル
ハンドツール

仕様・用途

●仕様

- 電源 …… 単相・交流 100V 50/60Hz
- 消費電力 …… 800W
- 吸込仕事率　強 …… 100W
  　弱 …… 45W
- 回収タンク容量 …… 1.5L
- 清水タンク容量 …… 3L
- ホース長さ …… 1.8m
- 使用水温 …… 0 ― 40℃
- 本体寸法（長さ×幅×高さ） …… 458 × 261 × 275mm
- コード長さ …… 5m
- 質量 ※ …… 6.2 kg
- 絶縁方式 …… 二重絶縁

※ ホース、延長管、窓ノズルを取付けた状態の質量です。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。使用環境により変わる場合があります。

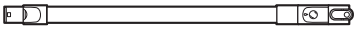
●用途

- カーペット、ソファ、車のシートなど布製品の洗浄
- 床や窓の清掃

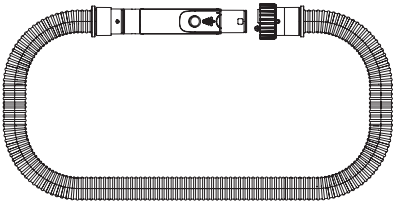
⚠ 水に弱い製品（皮革製品など）には使用できません

付属品

延長管

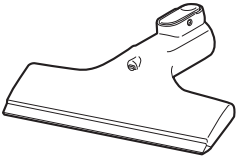


ホース　長さ1.8m

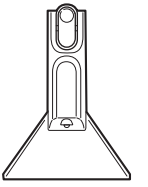


ブラシノズル

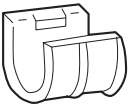
窓ノズル



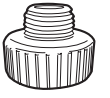
フロアノズル



ホースフック



バルブキャップ（清水タンク用）



出荷時、バルブキャップは清水タンクに取付けておりません。
使用時、清水タンクに必ず取付けてください。

別販売品

⚠
・別販売品は純正品をお買い求めください。
　別販売品の詳細につきましては、商品お買い上げの販売店でお買い求めください。
・別販売品は予告なく変更することがあります。

アルカリ電解水（300mL）	銀イオン水（300mL）
用途：布製品の汚れ落としに ※ 100%水が原料。マイナスイオンの力で、布製品の汚れを浮きあがらせます。	用途：布製品の抗菌・抗ウイルス・消臭に ※ 銀の優れた抗菌・抗ウイルス効果に加え、悪臭成分を化学反応により消臭します。

ご使用前の準備

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

・本製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のために、定格感度電流が 30mA 以下の漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠ 警 告

必ず守る

・延長コードは損傷のないものを用意してください。

・電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードを使用してください。右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

※ 延長コードを使用すると能力が低下します。

コードの太さ	最大の長さ
1.25 mm ^{2}	15m
2.0 mm ^{2}	30m

ご使用前の準備（取付け）

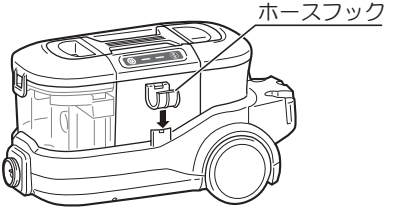
⚠ 警 告

必ず守る

・各部の組立て、部品交換の際には、電源スイッチを切り電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

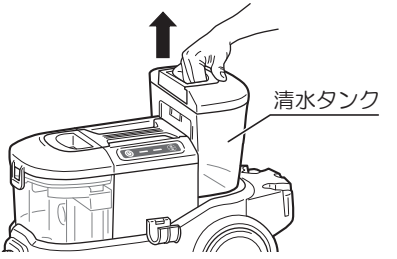
1. 本体にホースフックを取付けます

・右図のように下に押し込みます。



2. 清水タンクを本体から取外します

・右図のように上に引き上げて取外します。

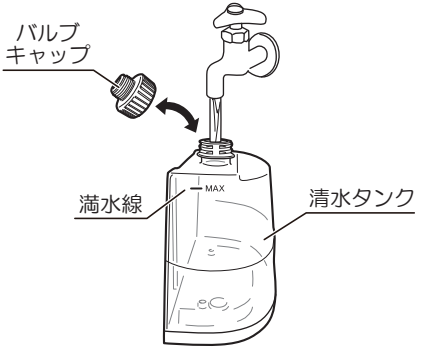


3. 清水タンクのバルブキャップを取外し、水道水を入れます

⚠ 出荷時、バルブキャップは清水タンクに取付けておりません。

・ 満水（MAX）線：最大容量 3Ｌ

※ 満水（MAX）線以上入れないでください。



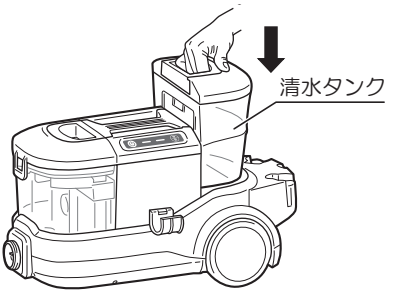
4. 清水タンクにバルブキャップを取付けます

⚠
- バルブキャップは確実に取付けてください。取付けがゆるいと水漏れの原因になります。
- 清水タンクには水道水またはアルカリイオン水以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 清水タンクの水は使用後に必ず捨ててください。水が入ったまま保管すると、水もれやカビの原因になります。
- 清水タンクを運ぶときは、水がこぼれないように注意してください。

ご使用前の準備（取付け）

5. 清水タンクを本体に取付けます

⚠ 清水タンクは確実に取付けてください。

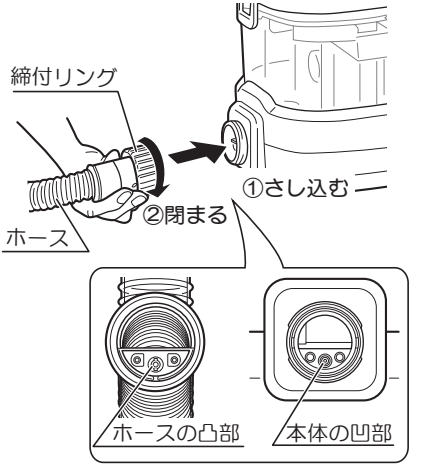


6. ホースを本体に取付けます

①ホースの凸部を本体の凹部に合わせて奥までさし込みます。

②締付リングを矢印方向（閉まる）に回して、しっかりと締付けます。

⚠
- 締付けがゆるいと水漏れの原因になります。
- 取付部にゴミなどが付いている場合は、除去してください。

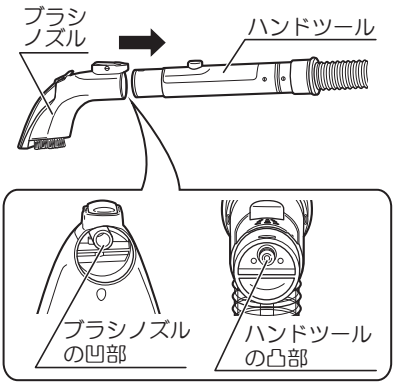


7. ノズルを接続します

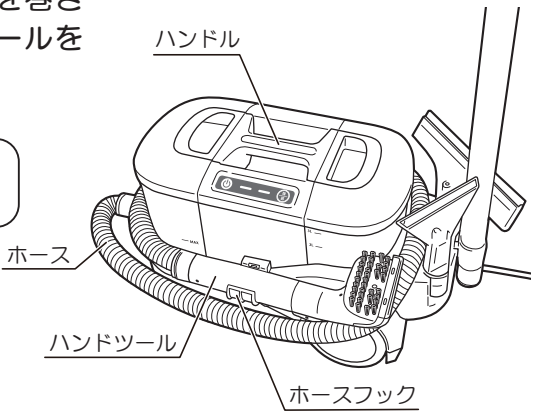
・ノズルの凹部にハンドツールの凸部を合わせてさし込みます。

⚠
- さし込みがゆるいと水漏れの原因になります。
- 取付部にゴミなどが付いている場合は、除去してください。

（取付例：ブラシノズル）



8. 持ち運ぶときは、本体にホースを巻き付け、ホースフックにハンドツールを固定します

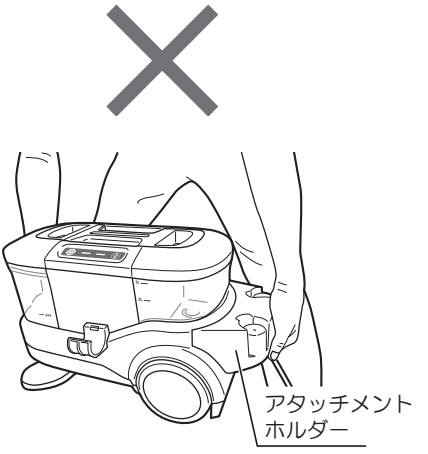


> ⚠ 本体を持ち上げる際は、中央のハンドルを持ってください。

⚠ 注 意

必ず守る

・アタッチメントホルダー部を持って運ばないでください。アタッチメントホルダーが外れた場合、本体が落下し、本体の損傷やけがをするおそれがあります。



> ⚠ ノズル、ホース、清水タンク、回収タンク、延長管の取付け、取外し時に水がこぼれることがありますので注意してください。

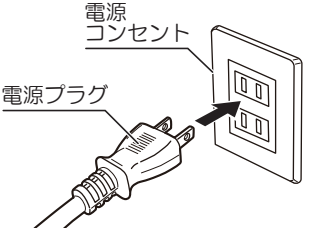
使い方

⚠ 警 告

必ず守る

・付属品の取付け、取外しの際には、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

1. 電源プラグを電源コンセントに差し込みます



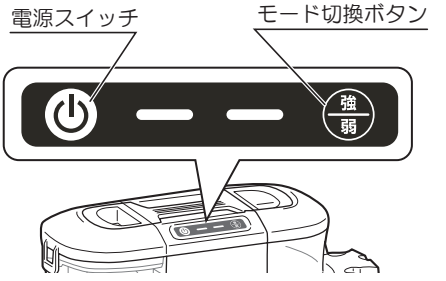
2. 電源スイッチ（⏻）を押し、電源を入れます

・電源スイッチ（⏻）を押すと、モーターが動きます。

・モード切換ボタン（強/弱）でモードの切換えができます。
電源が入ると（弱）で運転を開始し、モード切換ボタン（強/弱）を押すごとに（強）→（弱）→（強）・・・の順に切り換わります。

用途に応じて切換えてください。

・ランプの表示は右の通りです。



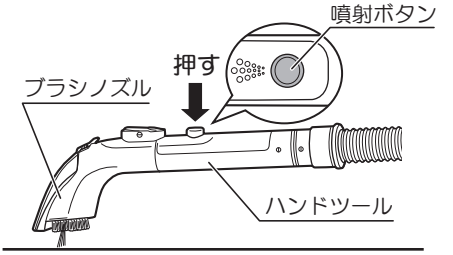
	ランプ表示
弱の場合	■□ 1個 点灯
強の場合	■■ 2個 点灯

⚠ 切換えは、電源が入っているときのみ行なえます。

3. 噴射ボタンを押し、清水を噴射させます

・ノズルのヘッド部を汚れに近づけ、噴射ボタンを押して清水を噴射させ、汚れを表面に浮き出させます。

⚠ 同じ箇所に大量に噴射させないでください。噴射後はすみやかに水分を吸い取ってください。布製品の奥まで水が染み込むと水分が残り、カビや臭いの原因になります。

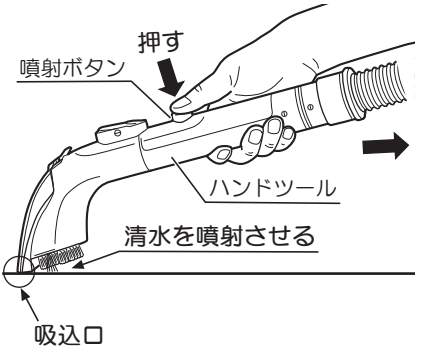


（取付例：ブラシノズル）

4. 水分と汚れを吸い取ります

（清水を噴射させながら吸う）

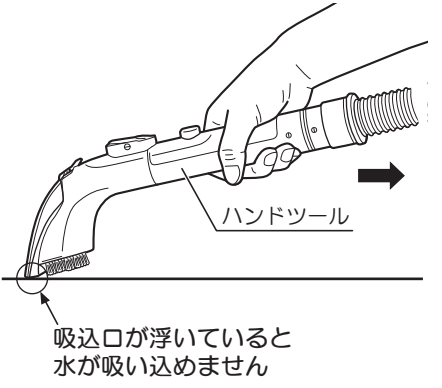
・吸込口を汚れに軽く押し付けながらハンドツールを手前に引き、水と汚れを吸い取ります。



（清水を出さずに吸う）

・吸込口が水平になるように汚れに押し付けながらゆっくり手前に引き、よく水分を吸い取ります。

回収タンク内に汚れた水が溜まります。



⚠
- 吸込口が浮いていると水をうまく吸い込めません。
- 水分が残りやすい布製品に使用した後は、扇風機などで風を当て、よく乾燥させてください。水分が多く残っていると、カビや臭いの原因になります。

⚠ 注 意

必ず守る

・一度に大量に吸うと回収タンクがあふれ、本体内部に水が浸入し、故障の原因になります。

5. 回収タンクの汚水が満水（MAX）線になった場合

・清掃中、汚水を捨てる場合は、21～23 ページ「回収タンクの汚水を捨てる」を参照してください。

6. 清水タンクの水がなくなった場合

・清掃中、清水タンクに水を入れる場合は、12 ページ「ご使用前の準備（取付け）」の３項を参照してください。

使い方

7. 使用後、電源スイッチ（⏻）を押し、電源を切ります

・電源スイッチ（⏻）を押すと、数秒後にモーターが停止します。

8. 電源プラグを電源コンセントから抜きます

⚠ 注 意

・電源プラグを電源コンセントから抜く前に、必ず電源スイッチ（⏻）を切ってください。
・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
・使用後は、電源プラグをさし込んだまま放置しないで、必ず電源コンセントから抜いてください。

9. 回収タンクの汚水と清水タンク、本体内部に残った水を捨てます。

（21 ページ「●回収タンクの汚水を捨てる」参照）
（24 ページ「●清水タンク、本体内部に残った水を捨てる」参照）

●汚れのひどいときは

落ちにくい汚れや染みついた汚れの箇所に直接、アルカリ電解水や銀イオン水などの洗浄剤を付けて、汚れを浮かせてから洗浄すると効果的です。

⚠ 注 意

禁止

必ず守る

- 清水タンクに洗浄剤を入れないでください。
- 清水タンクには、40℃以下の水（水道水またはアルカリイオン水のみ）を入れてください。
- 洗浄剤を使用するときは、端の部分などで試してから変色などの問題がないことを確認したうえで使用してください。
- シンナー、ベンジン、塩素系漂白剤や引火性のある溶質、溶媒は絶対に使用しないでください。変色や故障、火災の原因になります。
- 洗浄剤の分量や用法については、洗浄剤の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

おすすめ	適さない
・アルカリ電解水※ ・銀イオン水※ ・重曹 ・クエン酸 ・次亜塩素酸水 発泡性の低い洗浄剤などです。	・台所用中性洗剤 ・強アルカリ性洗剤 ・強酸性洗剤　など 発泡性の高い洗剤などは、本体内部に泡が浸入するおそれがあります

※ 当社指定の洗浄剤などを使用してください。（11 ページ「別販売品」参照）

⚠ 注 意

必ず守る

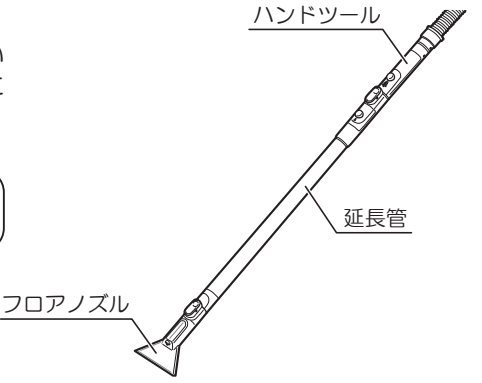
- 回収タンク内の泡立ちが多く満水線を超える場合は、運転を停止して回収タンクの汚水を捨ててください。本体内部に水滴が入るおそれがあります。
- 気泡などにより満水になる前に自動吸込み停止機能（フロート）が働き、吸込まなくなります。（23 ページ参照）

使い方

●延長管を取付けて使用する場合

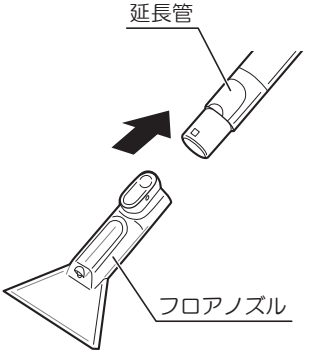
延長管を取付ける際は、使用中に抜けないように延長管・ノズルをハンドツールにしっかりさし込んでください。

> ⚠ さし込みがゆるいと水漏れの原因になります。

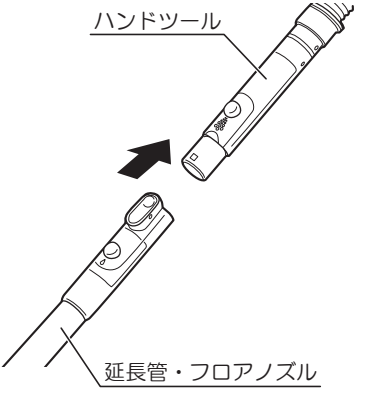


（取付け）

1. ノズルを延長管にさし込みます。
（取付例：フロアノズル）



2. 延長管・フロアノズルをハンドツールにさし込みます。



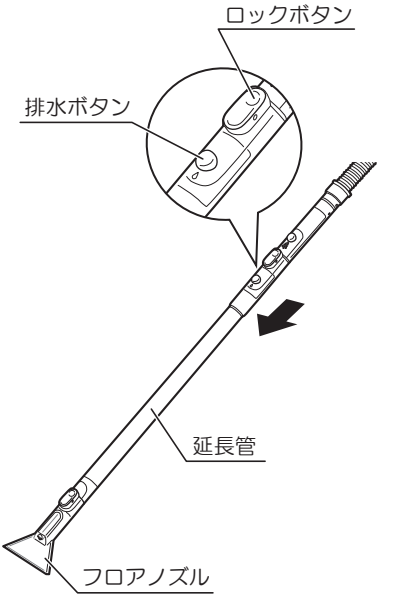
（取外し）

1. 取外し前に、延長管の排水ボタンを押して、延長管の中に残っている清水を出します。

2. 電源スイッチ（⏻）を入れ、排出した清水を吸い取ります。

3. 電源スイッチ（⏻）を切り、延長管のロックボタンを押さえて、延長管を矢印方向に引いて取外します。

4. フロアノズルを取外します。
（26 ページ（ノズルの取外し）参照）



●フロアノズル＋延長管

・床など掃除するとき、ハンドツールとフロアノズルの間に延長管をさし込めば立ったままの姿勢で楽に洗浄できます。

（作業例）

●窓ノズル＋延長管

・窓など高い所を洗浄するときは、ハンドツールと窓ノズルの間に延長管をさし込んで使用してください。

（作業例）

●ブラシノズル＋延長管

・ブラシの角度が適さないため推奨しません。

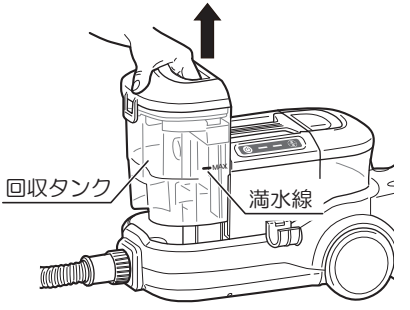
使い方

●回収タンクの汚水を捨てる

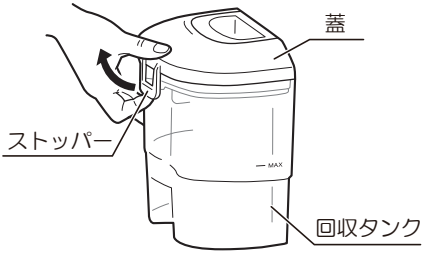
回収タンク内の汚水が満水（MAX）線まできた場合は、運転を停止してください。

1. 電源スイッチ（⏻）を押し、電源を切ります。

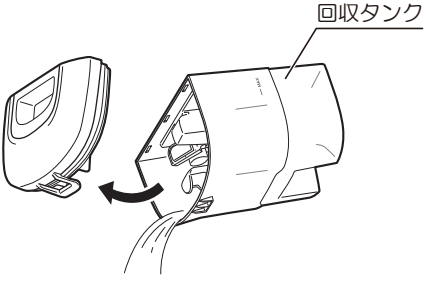
2. 回収タンクを本体から取外します



3. 回収タンク上部の蓋を外し、タンク内の汚水を捨てます
   - 回収タンクの蓋を固定しているストッパーを持ち上げ、蓋を取外してください。



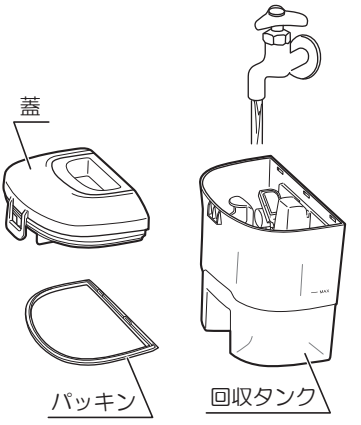
> ⚠ 回収タンクを運ぶときは、傾けないでください。水がこぼれる場合があります。



4. 回収タンク、蓋、パッキンを洗います（作業終了の場合）

・回収タンクは水洗いしてください。
・パッキンは蓋から取外し、水洗いしてください。

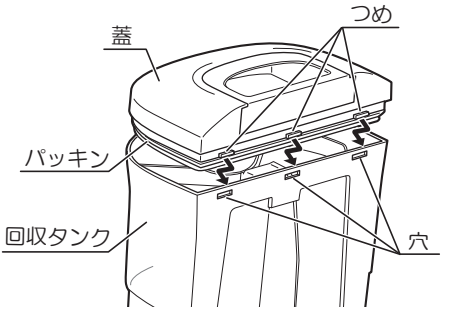
> ⚠ ・回収タンクに溜まった汚水を放置すると微生物や菌が発生し、においの原因になるおそれがあります。



5. 回収タンクの蓋を取付けます

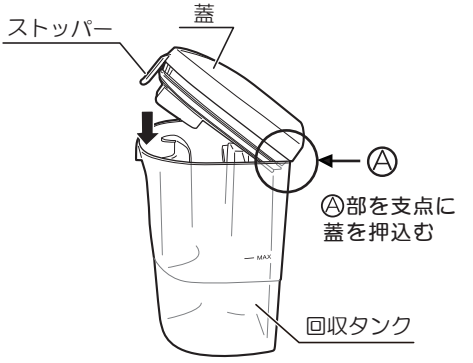
・パッキンを蓋に取付けてください。

・回収タンクの穴に蓋のつめをあわせて引っ掛けます。（Ⓐ部）



・右図のようにⒶ部を支点にストッパー側をしっかり押込み、確実に取付けてください。

> ⚠ 蓋はしっかり押込んでください。水漏れのおそれがあります。



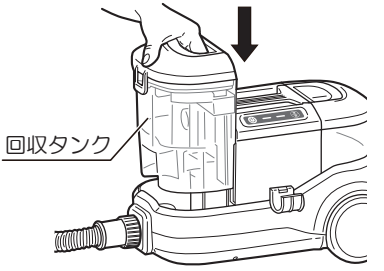
使い方

6. 回収タンクを本体に取付けます

⚠ 注 意

必ず守る

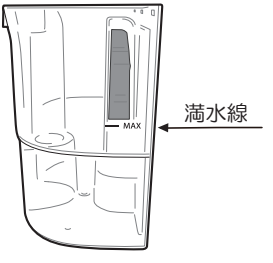
・回収タンクは確実に取付けてください。確実に取付けられていないと、汚れが吸い取れなかったり、汚水がこぼれたりします。

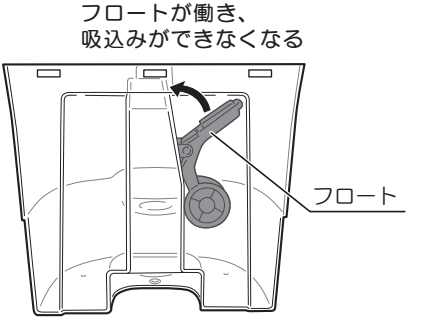


⚠

・汚水は満水（MAX）線を越える前に捨ててください。満水（MAX）線を超えて使用を続けた場合、自動吸込み停止機能（フロート）が働き、吸込まなくなります。そのときは、速やかに電源スイッチ（⏻）を切り、回収タンク内の汚水をこぼさないように捨ててください。

・気泡などにより満水になる前に自動吸込み停止機能（フロート）が作動する場合があります。





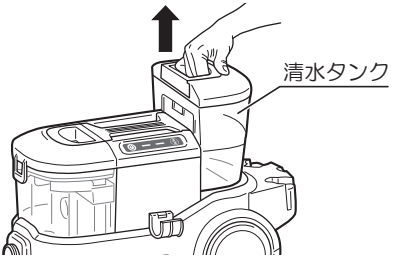
⚠ 注 意

必ず守る

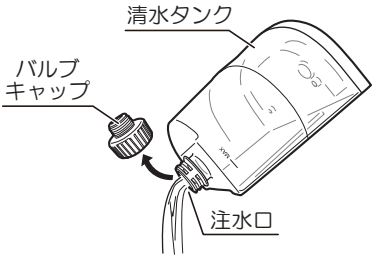
・自動吸込み停止機能(フロート)が働いたままで運転を続けないでください。モーターの温度が異常に上昇し、モーター焼損など故障の原因になります。

●清水タンク、本体内部に残った水を捨てる

1. 清水タンクを本体から取外します



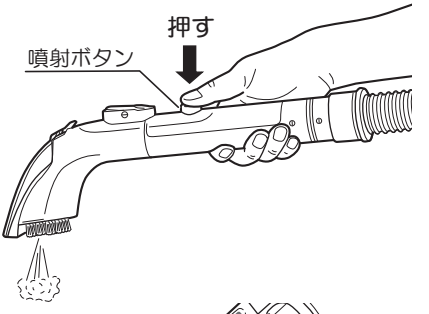
・清水タンクのバルブキャップをはずし、注水口を下にして残った水を捨てます。



> ⚠
> ・清水タンクは使用後、乾燥させてください。水が入ったまま保管すると、水もれやカビの原因になります。
> ・乾燥後、バルブキャップは清水タンクに取付けてください。

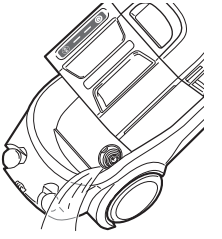
2. 電源スイッチ（⏻）を押し、電源を入れます。
   ・清水タンクが空の状態、または清水タンクを本体から取外した状態で電源を入れます。

3. 噴射ボタンを押して本体内部に残った水を抜きます



> ⚠
> 水が出なくなりましたら、電源スイッチを押して電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

4. 本体を傾けて、清水タンク取付部に溜まった水を捨てます



保守と点検

⚠ 警 告

必ず守る

・保守、点検、部品交換などお手入れの前には、必ず電源スイッチ（⏻）を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

分解禁止

・絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●使用後の手入れ

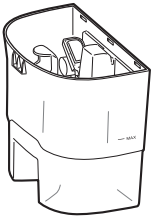
●本体（汚れたとき）

・水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。
・汚れが落ちにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤が残らないように、かたくしぼった布などで水拭きしてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また本体の水洗いは絶対にしないでください。

●ノズル
●回収タンク
●清水タンク
●延長管

毎使用後、本体から取外し、水洗いして十分に乾かしてください。

ノズル

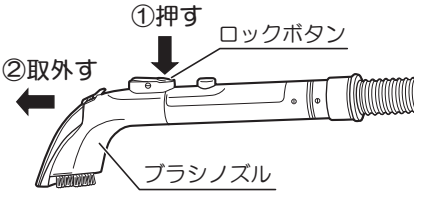

回収タンク

清水タンク

延長管

（ノズルの取外し）

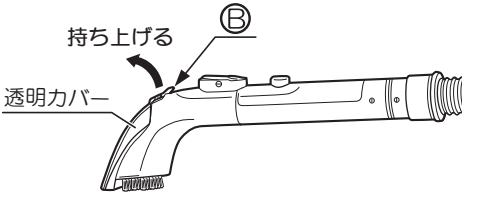
・ロックボタンを①の方向に押しながら②の方向へ取外します。



※ ブラシノズルの場合は、吸込口の透明カバーを取外してから水洗いをしてください。

（透明カバーの取外し）

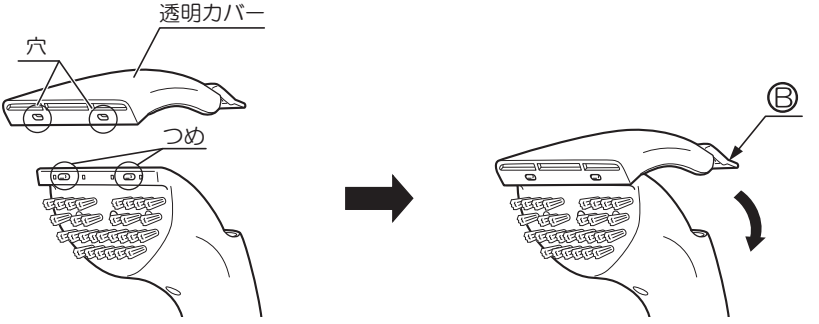
右図のⒷの部分を矢印方向に持ち上げて取外します。



（透明カバーの取付け）

・透明カバーの穴をブラシノズルのつめに合わせて引っ掛けます。

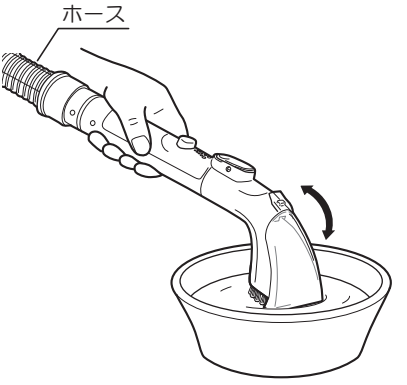
・Ⓑの部分を矢印方向へ確実に取付けます。



保守と点検

●ホース

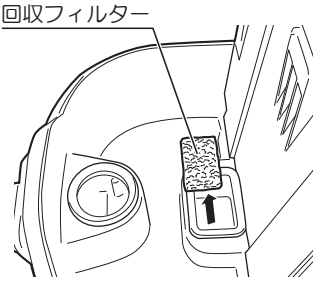
・ホースに穴が開いていないか確認してください。
・使用後、ホースは回収タンクを取外す前にきれいな水を吸って、ホース内部の汚水を洗い流してください。
・水は一気に吸わず、少しずつ吸ってください。



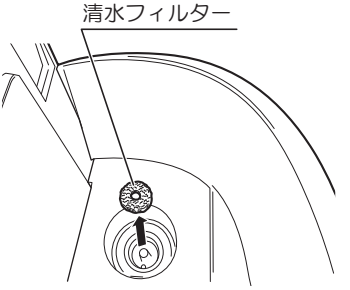
●回収フィルター

●清水フィルター

・フィルターが目詰まりしている場合は、洗浄または交換してください。



（回収タンク下）



（清水タンク下）

※清水フィルターは、ピンセットなどを使用すると取りやすくなります。

⚠注 意

必ず守る

・ホース内を洗い流す際、一度に大量に勢いよく吸うと回収タンクがあふれ、本体内部に水が浸入するおそれがあります。
・回収フィルター、清水フィルターを水洗いをした場合は、風通しのよい日影などで十分に乾燥させてから装着してください。
・お手入れ後は、必ず回収フィルター、清水フィルターを装着してください。

●保管

・お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところは避けてください。
・本体を保管する際は回収タンク、清水タンクの水を必ず抜いてください。
・清水タンクが空の状態、または清水タンクを本体から取外した状態で、空気を通し水抜きをしてください。（24 ページ「●清水タンク、本体内部に残った水を捨てる」参照）
・氷点下および高温になるような場所に保管しないでください。
・直射日光を避け、乾燥した場所に保管してください。

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置
電源が入らない（作動しない）	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか	電源プラグを電源コンセントにさし込んでください（15 ページ参照）
	本体内部または電源コードが断線していませんか	お買い上げの販売店にお問い合わせください
ノズルから清水が吐出されない、もしくは吐出量が少ない	ノズルが汚れていませんか	ノズルの清掃をしてください
	噴射ボタンが破損していませんか	お買い上げの販売店にお問い合わせください
吸引しない、もしくは吸引力が弱い	電源スイッチが入っていますか	電源スイッチ（⏻）を押して電源を入れてください（15 ページ参照）
	回収タンクが正しく取付けられていますか	回収タンクを正しく取付けてください（23 ページ参照）
	自動吸込み停止機能（フロート）が作動していませんか	回収タンクの汚水や気泡を捨ててください（23 ページ参照）
	ホースに異常はありませんか	ホースに割れ、潰れ・折れ・詰まりなどがないか確認してください（27 ページ参照）
	フィルターが目詰まりしていませんか	フィルターを清掃してください（27 ページ参照）

これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

ナビダイヤル®
0570-025-028

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

持込修理

保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

モデル名 KRC800		製造番号（表示位置は「各部の名称」をご確認ください）
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　　（　　）	
お買い上げ日 年　月　日		保証期間（お買い上げ日より） 1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号	

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   （a）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2. ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
   （a）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
   純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
   （b）工場のライン作業など、連続して長時間使用したことによる故障または損傷
   （c）保管や手入れの不備による故障や損傷
   （d）リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
   （e）水の浸入による故障または損傷
   （f）お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
   （g）過剰な負荷で使用をされて生じた故障または損傷
   （h）天災、異常電圧などによる故障または損傷
   （i）使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
   （j）本書のご提示がない場合
   （k）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
   （l）モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
   （m）譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
   （n）付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
   （o）商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
   （p）商品分解状態でのお持ち込み
4. 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
5. 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
6. 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。
This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラ インダストリアルツールズ株式会社

本社
広島県福山市松浜町 2-2-54　〒720-0802
https://www.kyocera-industrialtools.co.jp